

船舶インシデント調査報告書

令和5年3月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（推進器故障）
発生日時	令和4年1月9日 14時10分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市横須賀港第5区 横須賀港走水物揚場防波堤灯台から真方位342° 1.1海里付近 (概位 北緯35° 16.9′ 東経139° 43.6′)
インシデントの概要	プレジャーボート ^{ドリーム スリー} DREAM-Ⅲは、航行中、推進器が回転しなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和4年2月2日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート DREAM-Ⅲ、5トン未満（長さ9.05m） 232-27380千葉、個人所有 ディーゼル機関、船内外機、4サイクル、出力176.50kW、回転数毎分3,000、6気筒、ボア100mm、使用燃料軽油、平成8年9月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.3m
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、釣りを終えて千葉県富津市上総湊^{かずさみなと}港に向けて帰航中、推進器が回転しなくなり、航行できなくなったので、船長が海上保安庁に通報し、錨泊した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇の海上保安官による調査を受け、その後、船長が友人の船舶に救助を要請し、同船舶によりえい航されて上総湊港に到着した。</p> <p>本船は、本インシデント後、機関整備業者が点検したところ、ドライブユニットの上部ギアボックス内のオイルシールの留め具であるカラー（以下「本件カラー」という。）が振動等で緩み、潤滑油が漏れて潤滑不良となり、同ボックス内のギアが破損して主機の動力を推進器に伝達できない状態であった。</p> <p>船長は、本インシデントの約15年前に本船を中古で購入し、富津市所在のマリーナで年に1～2回上架して機関整備業者によるドライブユニット等の点検整備を行っていたが、本インシデントの約2年前から点検整備を行っていなかった。</p>
分析	本船は、ドライブユニットの点検整備が約2年間行われていない

	<p>中、航行中、本件カラーが振動等で緩んだことから、ドライブユニットの上部ギアボックス内の潤滑油が漏れて潤滑不良となり、同ボックス内のギアが破損して主機の動力が推進器に伝達することができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、ドライブユニットの点検整備が約2年間行われていない中、航行中、本件カラーが振動等で緩んだため、ドライブユニットの上部ギアボックス内の潤滑油が漏れて潤滑不良となり、同ボックス内のギアが破損して主機の動力が推進器に伝達することができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、定期的に機関整備業者に依頼し、上架してドライブユニットの点検整備を行うこと。